令和４年度

事業者向け　事業所自己評価表

事業者向け　　放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童発達支援事業を行うための適切なスペースを確保しております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定められた有資格者を適切に配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用者のハンディの状況に合わせ、バリアフリー環境をできる限り整えています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務報告者や全職員会議を通じ、職員それぞれの中・長期的目標を定めて、達成に向けての振り返りを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			全職員で共有し、的確に保護者等の意向を把握した上で、よりよい指導のため業務改善に役立てております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所ＨＰで公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部委員会の設置は今後の展開のなかでできれば取り入れていきたいと思います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な職員研修会議にて職員の資質向上に努めています。また、外部の講習会等へも参加・呼びかけをし、学習の機会を広げております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との丁寧なアセスメントや日常の情報共有を心がけ、それぞれの子供の成長に合わせた状況分析と支援計画を作成し、実行に努めております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの発育状況や心理的課題、興味関心事、生活環境など、必要な情報を記録し、そこから課題分析して、適切な対応を心がけております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に、職員の意見を反映させて作成して行っております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の成長に寄り添い、その子の興味、関心を広げられるよう学びや成長の機会につながる活動を心がけ、行っております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれに応じた課題、総合的な支援目標や日常生活における目標、生活全般の質の向上など、それぞれの子どもの成長や特性に合った適切な発達支援計画を設定し、取り組んでおります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども達それぞれの状況に応じて、個々の興味の範囲を広げることと同時に、社会性を身につけられるよう集団活動の機会も設けています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回、 支援開始前のミーティングで行っております。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎回、支援終了後、当日の振り返りとともに、子どもや保護者との関わりで気付いた点や気になったことを職員間で共有しております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			子ども達の支援内容を個々に当日記録し、それを基にそれぞれの発達支援計画の策定や日々の支援内容の改善に役立てています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援計画の実施状況把握に努め、必要に応じて計画の見直しなどを行っております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			子どもと保護者のニーズに合わせた適切な支援を行えるよう、ガイドラインの基本活動を基盤に支援計画の策定と活動を行っております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事業所責任者及び児童発達支援管理責任者が参画し、支援サービスの提供内容と共に、課題への達成度や気づいた点などを共有しております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との連絡や情報共有はできるだけ丁寧に行い、日常の情報共有や連絡調整と共に、必要に応じて多面的な支援に結び付けられるよう努めております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		これまで医療的ケアを必要とする児童の利用はありませんが、今後そうした利用があれば、主治医や保護者と共に細心の注意を払い取り組みます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて、丁寧に行うよう心掛けております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		該当事業所からのご要望を戴くようであれば、ぜひこれまでの支援活動の情報を共有し、児童の今後の活動に役立ててほしいと考えています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ケースごとに専門機関との情報共有や連携に努め、支援にあたっております。また、研修の機会なども積極的に参加しております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		障がいのない子ども達と活動する機会となるよう、年中行事などに利用児童の兄弟姉妹などをお招きし、ご参加いただいております。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加しております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			それぞれの成長等に合わせ変化する状況や課題を共有できるよう、丁寧な報告や連絡を心掛け、取り組んでおります。

	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			個別のご相談に対しては児童発達支援管理責任者から具体的なアドバイスや分析等をお伝えしております。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご利用開始時、丁寧にご説明を行っております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの個別のご相談に対しては、児童発達支援管理責任者が相談窓口となり、具体的なアドバイスや支援取り組みを行っております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年中行事を通じて、保護者や姉妹兄弟も参加できる機会を設け、保護者同士がつながる場づくりを心掛けています。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情や質問、相談などについては日々の連絡帳だけでなく、それらを受け付けるための苦情解決責任者が直接ご連絡をし、迅速、的確に解決を図るようにしております。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			日々の活動内容や行事予定等、保護者の方にお分かりいただけるよう、定期的に通信を発行してご報告しております。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			細心の注意と管理で適正な取扱いをしております。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者や保護者の方々の為の障害種別に応じた設備や備品配慮のほか、できるだけ丁寧な意思疎通や情報伝達のための配慮を心がけております。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域との関係性を重視し、HP やブログでの情報発信と共に、地域活動への参加、地域の大学へのボランティア受け入れの働きかけ等に努めています。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各種マニュアルを策定し、必要な措置を関係機関と連携し行います。また日頃より、職員への周知にも努めております。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害時避難場所や避難経路について、具体的な計画と共に訓練の実施を行っております。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止と共に人権意識の啓発を目指し、職員の研修会を開き、具体的なケース検討を行って支援の質の向上に努めております。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		当事業所ではいかなる場合も身体拘束は行わないことを方針としております。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			細心の注意をもって行っております。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員の為のケース検討の研修会議において、職員からのヒヤリハットを報告共有し、記録しております。